

アジサイの里だより

第三十号

変化自在のアジサイの花色の不思議

桜が散りサツキツツジも色あせたら、次の主役はアジサイでしょうか。はじめととうとうとうしい梅雨時期も、しつとりと雨に濡れて輝くアジサイの美しさを見たら、憂うつな気分が吹き飛ぶのではないのでしょうか。アジサイは晴れた日よりも雨や曇りの日のほうが色もきれいに見えるので、アジサイは梅雨時のマストアイテムとも言えるのではないのでしょうか。

アジサイの花の色と言えば青色系を思い浮かべる方が多いと思いますが、それは日本の風土に関係しています。日本は世界的に見ても雨が降る量が多い国なのですが、降雨量が多いと土壌が酸性に傾きます。酸性だとアジサイの花が青色になるという豆知識を持っている人は多くいると思います。が、じゃあなんで酸性だと青くなるの？という理由はあまり知っていません。はいないと思います。ちょっと難しい話をしますと、アジサイにはアントシアニンという色素のものが含まれているのですが、そのアントシアニンとアルミニウムが結合すると、花の色が青色になります。アルミニウムは土の中に普通に含まれている成分なのですが、土壌が酸性だと溶け出しやすい性質を持っているので、日本は雨が多くて酸性土壌↓アルミニウムが溶けだす↓アジサイが吸収↓アントシアニンが反応して青色の花になるということなのです。理科はニガテ！という方には右の耳から左の耳へと流れていくお話ですね。

簡単に要約すると、バラも花色が多い植物ですが花色ごとく品種が違い、同じ品種であれば誰がどこで育ててもだいたい同じ色の花が咲きますが、アジサイは同じ品種でも生育環境が違つと青・ピンク・紫と色の变化が出てくるということです。ちなみにアジサイの肥料に青色用と赤色用が出ていたりしますので、自分好みの色に変化させることも可能かもしれません。

花屋さんで目にする花がカラフルで大型のものは日本に自生するアジサイを西洋で品種改良したものです。日本の山野に自生するアジサイにも色々な種類がありますよ！



木や壁にからみつき
ワイルドアジサイ



小さな面性花の葉より
コアジサイ



面性花には
種子ができる
装飾花びら
虫を呼び寄せる



装飾花びら 額縁のように色どるカアジサイ

リースや
アレンジメントにも！



ドライフラワーなどにしても楽しめます。

アジサイの花の大部分は盛夏には枯れて見苦しくなってしまうが、中にはグリーンやベージュを帯びたシックな色合をを残したのもありそついったものを